

令和5事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 5年4月 1日

至：令和 6年3月31日

国立大学法人神戸大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人神戸大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	20,879	21,297	418	(注1)
施設整備費補助金	1,283	2,202	919	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	2,007	3,765	1,757	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	24	24	-	
自己収入	52,356	52,968	611	
授業料、入学料及び検定料収入	9,301	8,839	△462	(注4)
附属病院収入	42,143	41,187	△956	(注5)
財産処分収入	-	1,414	1,414	(注6)
雑収入	912	1,527	615	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	9,693	14,221	4,528	(注8)
引当金取崩	-	504	504	(注9)
長期借入金収入	2,161	1,728	△433	(注10)
貸付回収金	1	3	2	
目的積立金取崩	1,031	562	△468	(注11)
引当特定資産取崩	-	-	-	
計	89,435	97,273	7,839	
支出				
業務費	72,109	69,153	△2,956	
教育研究経費	31,844	29,384	△2,460	(注12)
診療経費	40,265	39,769	△495	(注13)
施設整備費	3,468	3,954	486	(注14)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,634	3,418	1,783	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	9,692	11,316	1,624	(注16)
貸付金	2	3	1	
長期借入金償還金	2,530	2,520	△10	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	703	703	(注17)
計	89,435	91,066	1,631	
収入－支出	-	6,207	6,207	

※項目ごとに四捨五入を行なっているため、計及び差額が合致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、教育・研究基盤維持経費の追加交付247百万円があったこと等により、予算額に比して決算額が418百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、地域産学官連携科学技術振興拠点施設整備費補助金が採択されたこと等により、予算額に比して決算額が919百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、補助金の新規採択等が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が1,757百万円多額となっています。なお、決算額には授業料等減免費交付金が347百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料、入学料及び検定料の収納額が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が462百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症の影響で低下した病床稼働が回復しなかったことにより、予算額に比して決算額が956百万円少額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、土地の譲渡等により、予算額に比して決算額が1,414百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、受取保険金などの雑収入が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が615百万円多額となっています。なお、決算額には前年度からの繰越金2,304百万円を含んでおります。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたことに加え、前期繰越額のうち、当期に使用した額を含めて計上していることにより、予算額に比して決算額が4,528百万円多額となっています。

- (注 9) 引当金取崩については、賞与引当金 4 5 0 百万円及び退職給付引当金 5 4 百万円を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が 5 0 4 百万円多額となっています。
- (注 1 0) 長期借入金収入については、一部の事業において翌事業年度繰越が発生したことにより、予算額に比して決算額が 4 3 3 百万円少額となっています。
- (注 1 1) 目的積立金取崩については、執行計画に変更が生じた理由により、予算額に比して決算額が 4 6 8 百万円少額となっています。
- (注 1 2) 教育研究経費については、物件費の執行が見込額を下回ったこと、また(注 4)に示した理由により、予算額に比して決算額が 2, 4 6 0 百万円少額となっています。
- (注 1 3) 診療経費については、長期借入金で実施を予定していた事業が次年度に繰越となったこと、また水道光熱費単価が想定を下回った理由により、予算額に比して決算額が 4 9 5 百万円少額となっています。
- (注 1 4) 施設整備費については、(注 2)に示した理由により、予算額に比して決算額が 4 8 6 百万円多額となっています。
- (注 1 5) 補助金等については、(注 3)に示した理由により、予算額に比して決算額が 1, 7 8 3 百万円多額となっています。
- (注 1 6) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究費等での執行が見込額を上回ったこと、また(注 8)に示した理由により、予算額に比して決算額が 1, 6 2 4 百万円多額となっています。
- (注 1 7) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、土地の譲渡等が発生したことにより、予算額に比して決算額が 7 0 3 百万円多額となっています。